

第 33 回日本作業行動学会学術集会のお知らせ

次年度の第 33 回日本作業行動学会学術集会は、2024 年 6 月 15 日（土）・16 日（日）に岐阜県岐阜市にある「じゅうろくプラザ」で開催します。大会長は永井貴士（平成医療短期大学）、実行委員長は建石光貴（朝日大学病院）、学術部長は古桧山建吾（平成医療短期大学）です。プログラムは以下の通りです。

日程：2024 年 6 月 15 日（土）～16 日（日）

大会テーマ：人間作業モデルが導く多様性への支援

会場：じゅうろくプラザ（岐阜駅徒歩 1 分）

大会長講演：人間作業モデルが多様性支援に果たす役割

永井 貴士（平成医療短期大学）

特別講演 1：これからの作業療法の在り方と作業療法理論の価値

澤田 辰徳（東京工科大学）

特別講演 2：多様性のある作業療法実践

奥津 光佳（NPO 法人はびりす）

教育講演：人間作業モデル第 6 版について

山田 孝（一般社団法人 人間作業モデル研究所）

イブニングセミナー：作業療法の新しい働き方 ～多様性ある支援～

森島 肇（株式会社オキュラボ）

以上の講演以外にも口述発表、ポスター発表、スペシャルセッションをプログラムに入れておりますので、ふるってご参加ください。

現在、演題受付期間中です（2024 年 3 月 31 日まで）。

また、参加費は事前参加の申込期間が 2024 年 6 月 10 日までになります。事前参加申し込みは、会員 6,000 円、非会員 7,000 円です。当日申し込みは会員 8,000 円、非会員 9,000 円になりますので、事前にお申込みいただく方がよろしいかと思えます。

皆様の演題発表および参加を心よりお待ちしております。